

Labo letter



検査情報

簡易推算式で **eGFR (推定糸球体濾過率)** が記載できます。

この度、日本人に適用できる GFR 計算式が日本腎臓学会から発表されました。

$$\text{eGFR}(\text{ml/分}/1.73\text{m}^2) = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \quad (\text{女性は結果に} \times 0.739)$$

これによる推定 GFR (eGFR) は、イヌリン・クリアランスと密接な相関を示します。

今後、日本人の CKD はこの eGFR を使用して分類されるものと思われます。

K/DOQI-KDIGO ガイドラインによる慢性腎臓病 (CKD) の定義と病期分類

《定義》下記の 1,2 のどちらかを満たす場合。

1. 腎障害 (kidney damage) が 3 ヶ月以上継続する。

腎障害とは腎臓の形態的または機能的な異常を指し、GFR 低下の有無を問わない。

腎障害の診断は、病理学的診断、または腎障害マーカー (血液、尿検査とくに蛋白尿、画像診断) によって行う。

2. $\text{GFR} < 60\text{ml/分}/1.73\text{m}^2$ が 3 ヶ月以上継続する。この場合腎障害の有無を問わない。

《病期分類》

病期	重症度の説明	換算 GFR 値 (ml/分/1.73m ²)	診療計画 (Clinical action plan)
	リスクの増大 (CKD には至っていない病期)	CKD 危険因子が存在する (糖尿病、高血圧など) 90	1.CKD スクリーニングの実施 (アルブミン尿など) 2.CKD 危険因子の減少に努める
1	腎障害 (+) GFR は正常又は 亢進	90	併発疾患の治療 1.CKD 進展を遅延させる治療 2.CVD リスクを軽減する治療
2	腎障害 (+)	GFR 軽度低下 60 ~ 89	CKD 進行の予測
3	腎障害 (+)	GFR 中等度低下 30 ~ 59	CKD 合併症を把握し治療する (貧血、血圧上昇、続発性上皮 小体機能亢進症など)
4	腎障害 (+)	GFR 高度低下 15 ~ 29	透析または移植を準備する
5 5D	腎不全 透析期	< 15 透析	透析または移植の導入 (もし尿毒症の症状があれば)

CVD;cardiovascular disease(心血管疾患)。

[K/DOQI-KDIGO(Kidney Disease:Improving Global Outcomes) ガイドラインから引用。邦訳は塚本らによる]

なお eGFR の項目がない依頼書につきましては、追加項目の欄に eGFR と記入してください。計算項目ですので、料金は発生しません。

血清クレアチニンと**年齢**と**性別**が必須項目となります。

お知らせ

今年度も引き続き、特定健診を請けたまわっております。その判定基準を簡単に紹介させていただきます。

特定健診の判定の流れ

<p>メタボリックシンドロームの基準該当と 予備群該当の判定</p> <p>ステップ 1 腹囲...男性 85 cm以上 / 女性 90 cm以上</p> <p>ステップ 2 空腹血糖 110mg/dl か HbA1c 5.5% または服薬中の方</p> <p>TG 150mg/dl か HDL-C < 40mg/dl または服薬中の方</p> <p>血圧が収縮期 130mmHg か 拡張期 85mmHg または服薬中の方</p> <p>基準該当：ステップ 1 に加えてステップ 2 が 2 項目以上該当</p> <p>予備群該当：ステップ 1 に加えてステップ 2 が 1 項目該当</p>	<p>保健指導対象者の選定基準</p> <p>腹囲...男性 85 cm以上 / 女性 90 cm以上 (1) 男性 85 cm未満 / 女性 90 cm未満かつ BMI 25 以上 (2)</p> <p>+</p> <p>空腹血糖 100mg/dl か HbA1c 5.2%</p> <p>TG 150mg/dl か HDL-C < 40mg/dl</p> <p>血圧...収縮期 130mmHg か、拡張期 85mmHg</p> <p>質問票...喫煙歴あり(上記 ~ のリスクが 1 つ以上 ある場合にカウント)</p> <p>ただし糖尿病・高血圧症・脂質異常症の治療薬を 服用中の方を除く。</p>
---	--

特定保健指導の対象者（階層化）

腹囲	追加リスク 血糖 脂質 血圧	喫煙歴	40～64 歳	65 歳～74 歳
(1)	2 つ以上該当		積極的支援	動機付け支援
	1 つ該当	あり		
		なし		
(2)	3 つ該当		積極的支援	動機付け支援
		あり		
	2 つ該当	なし		
	1 つ該当			

特定健診はこの結果により、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因の数から指導レベルを選定し、保健指導を行います。

センター紹介シリーズ

集配

現在集配は、男性 1 名、女性 11 名の計 12 名で業務にあたっております。

下関市内（旧豊浦郡を含む）において、平日は午前・午後の２回、土曜日は午前１回お伺いしています。
緊急検査にも迅速な対応を心がけ検体の収集を行っております。

編集後記

新型インフルエンザが日本に上陸し、下関にも感染者がでております。

予防は、やはり手洗いとうがい、マスクの使用が第一だそうです。これを機会に、一年を通じて手洗いとうがいを実施してみたいかがでしょうか。

編集委員 岩野千春・植村直美・大田美千代・畑里佐子・向上智佳

発行責任者 椿 安志

〒751-0831 下関市大学町2丁目1-2

下関市医師会臨床検査センター

TEL 083-252-2188 FAX 083-255-0726

TEL 083-252-3794(検査室直通)